令和5年6月6日

【共同報道発表（仮訳）】

- 1 東部ミクロネシア海底ケーブル事業において、海底ケーブルの製造・敷設コンポーネントが正式に立ち上がりました。島嶼国側運営委員会のメンバーは、競争入札の結果、日本電気株式会社（NEC）との間で海底ケーブルに係る調達契約を締結しました。
- 2 この契約は、豪州、日本、米国が資金提供する総額9,500万米ドルの東部ミクロネシア海底ケーブル事業の主要なコンポーネントです。本事業は、ミクロネシア連邦のコスラエ州、キリバス共和国のタラワ、ナウルを結ぶ海底ケーブルを、ミクロネシア連邦のポンペイにおいて既設の海底ケーブルであるHANTRU-1の陸揚げポイントに接続させるものです。
- 3 今後は、敷設ルート of 最終調査及び設計を行い、園芸用ホースほどの太さのケーブルを製造することです。ケーブルは、製造後、海底に敷設され、各国に建設される陸揚げ施設に接続される予定です。
- 4 本日の記念すべき節目に、本事業に関する情報を英語、ギルバート語、コスラエ語、ナウル語で提供するウェブサイト (<https://www.eastmicronesiacable.com/>) が開設されました。
- 5 6か国の代表者は、改めて東部ミクロネシア海底ケーブル事業へのコミットメントを確認しました。

ジャミー・アイビスター豪州外務貿易省インフラ調整官のコメント：

「豪州は、太平洋の重要なインフラ整備と、安全で強靱な情報通信アセットの提供を支援できることを誇りに思います。海底ケーブルの契約締結は、これら太平洋島嶼国にとって、デジタル貿易と電子サービスの機会向上を通じて経済的・社会的利益をもたらす変革的プロジェクトの重要なステップとなります。」

カールソン・アピス・ミクロネシア連邦コミュニケーション・インフラ省長官のコメント：

「コスラエ州は、ミクロネシア連邦の中で唯一海底ケーブルの接続がない州です。本事業は、ミクロネシア連邦全域におけるデジタル接続への平等なアクセスをサポートし、すべての州において情報や重要なサービスにアクセスする能力を大幅に向上させるものです。」

「ナウルやキリバスの兄弟姉妹にデジタルの門戸を広げることができ、お互い及

び他の世界の国々とよりよくつながることができるようになることを光栄に思っております。感謝を申し上げますとともに、すべての事業パートナーと引き続き協働していくことを楽しみにしています。」

遠藤和也外務省国際協力局長のコメント：

「本事業において海底ケーブルが接続されれば、コスラエ州（ミクロネシア連邦）、キリバス、ナウルにおいて、10万人以上の人々をつなぐ、より速く、より質が高く、また信頼性のより高い安全な通信環境が提供されることとなります。」

「友人達と協力し、太平洋全域のコミュニティに前向きな利益をもたらすこの実用的なパートナーシップの一員であることを嬉しく思います。」

ミタテティ・モート・キリバス情報・コミュニケーション・運輸省長官のコメント：

「この機会を捉えて、太平洋の隣人達や友人達とともに、自分たちの国や地域にとって本事業が意味するものを認識できることを喜ばしく思います。」

ジェイ・ウディット・ナウル法務国境管理長官兼ナウル・ファイバー・ケーブル・コーポレーション最高経営責任者のコメント：

「この事業は、ナウル全域において、個人、コミュニティ、そしてビジネスやサービスなどに広範な影響を及ぼすでしょう。」

「豪州、日本及び米国の支援に感謝します。」

マシュー・マーレー米国国務省東アジア太平洋地域次官補代理のコメント：

「安全で強靱なデジタル連結性は、かつてないほど重要になっています。米国は、私たちの地域をより近くするこの事業の一員であることを嬉しく思います。」

ベティ・チャン米国国際開発庁（USAID）太平洋諸島地域担当副ミッションディレクターのコメント：

「この事業は、太平洋島嶼国、コミュニティ、そして個人にとっての前向きな成果への私たちの共通の関心とコミットメントを強調するものです。」

6 本事業の詳細については、<https://www.eastmicronesiacable.com/> または <https://www.aiffr.gov.au/investments/investment-list/east-micronesia-cable> をご覧ください。

オーストラリア
ミクロネシア連邦
日本
キリバス

外務貿易省
運輸・コミュニケーション・インフラ省
外務省
情報・コミュニケーション・運輸省

ナウル
アメリカ合衆国

通信省
国務省及び米国国際開発庁